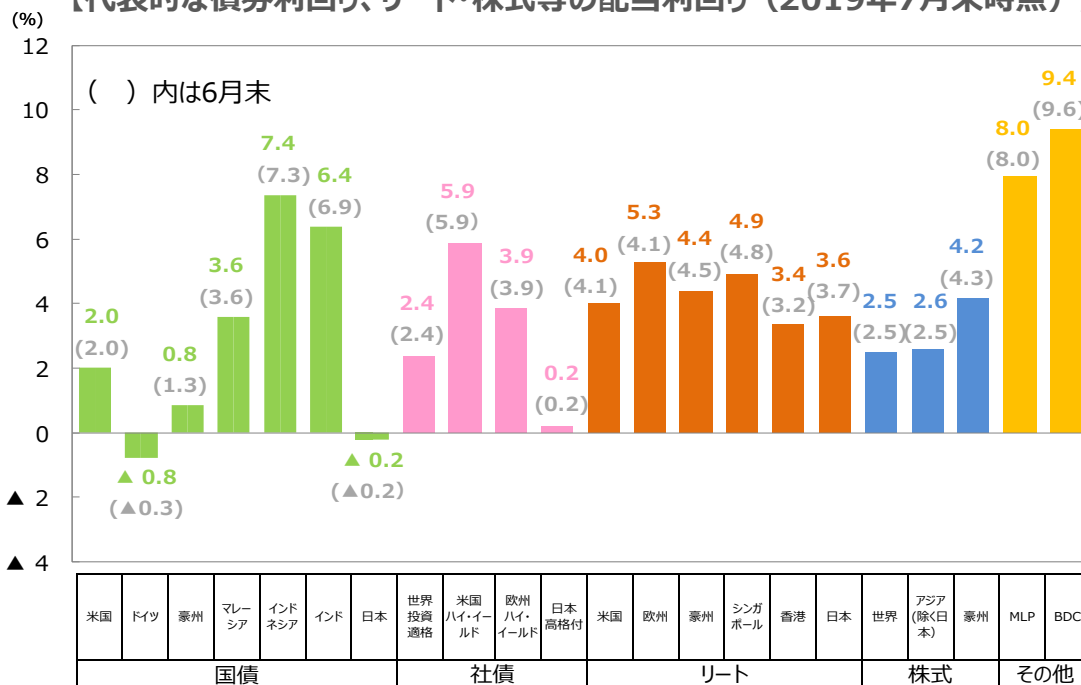


今日のトピック 主要な資産の利回り比較（2019年8月）
利下げ期待の高まりを背景に国債利回りが低下

- 7月末時点の米国10年国債利回りは、7月の米利下げを織り込んでいたため前月末と比べて横ばいでした。一方、ドイツは欧州中央銀行（ECB）による利下げ期待の高まりなどから利回りが低下しました。豪州は、2会合連続の利下げを受けて利回りが低下しました。日本、インド、インドネシアなどはまちまちでした。また、世界投資適格社債、米欧のハイ・イールド社債や日本の社債利回りは横ばいでした。
- 主要なリートの配当利回りは、米国、豪州、日本などは相対的に利回りの高いリートに資金が流入したため価格が上昇し、利回りが低下しました。一方、欧州、シンガポール、香港などはリートの価格が低下したため利回りは上昇しました。株式の配当利回りは、アジア（除く日本）の利回りが上昇しました。豪州は低下しました。MLP、BDCの配当利回りはBDCが低下し、MLPはほぼ横ばいでした。

【代表的な債券利回り、リート・株式等の配当利回り（2019年7月末時点）】


(注1) 国債は10年国債利回り。社債は世界投資適格社債がBloomberg Barclays Global Aggregate Corporates Index、米国ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays U.S. High Yield Index、欧州ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays Pan-European High Yield Index、日本高格付社債がNOMURA-BPI事業債指数。リートはすべてS&P先進国リート指数の主な国・地域指数。株式は世界株式がMSCI AC ワールドインデックス、アジア（除く日本）株式がMSCI AC アジア（除く日本）インデックス、豪州株式がMSCI豪州インデックス。MLPはアメリアンMLP・インデックス、BDCはウェルズファーゴBDC・インデックス。

(注2) MLPは有限責任組合（Master Limited Partnership）で、米国で行われている共同投資事業形態の1つです。エネルギーや天然資源に関する事業などを行っているMLPがあります。BDCは米国の事業開発会社（Business Development Companies）です。銀行とは異なる企業形態で、中堅企業等向けに、融資や出資（株式の取得など）を行う会社です。

(出所) Bloomberg L.P.、野村証券金融工学研究センター、S&P Dow Jones Indices LLC、FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**
2019年8月6日 豪州の金融政策：据え置きも必要なら追加利下げへ（2019年8月）
2019年8月1日 米国の金融政策：2008年12月以来の利下げ（2019年7月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。